



*Masako Saida (soprano)*  
*Italian Songs*  
*and*  
*Japanese Songs*

# Italian Songs and Japanese Songs

Masako Saida (soprano) Ailing Sai (harp)

1. アマリツリ Amarilli/カッチーニ G. Caccini ……………3:02
2. アヴェ・マリア Ave Maria/カッチーニ G. Caccini ……………2:58
3. さよなら、コリンド Addio, Corindo/チェステイ M.A.Cesti ……………4:21
4. もはや私の心には感じない(うつろの心) Nel cor piu non mi sento/バイジェツロ G. Paisiello ……………1:34
5. カロ・ミオ・ベン(いとしい人よ) Caro mio ben/ジョルダニ G. Giardini ……………2:52
6. マリンコニーア Malinconia/ベツリーニ V. Bellini ……………1:34
7. アヴェ・マリア Ave Maria/マスカーニ P. Mascagni ……………3:23
8. 何も言わずに Arietta all'antica/ロッシーニ G. Rossini ……………2:01
9. 浜千鳥/鹿島鳴秋/弘田竜太郎 ……………2:25
10. 叱られて/清水かつら/弘田竜太郎 ……………3:57
11. 中国地方の子守唄/日本民謡/山田耕筰 ……………2:24
12. 赤とんぼ/三木崑風/山田耕筰 (編曲)彩 愛玲 ……………2:28
13. ちんちん千鳥/北原白秋/近衛秀麿 ……………3:19
14. ゆりかごの歌/北原白秋/草川 信 (編曲)伊藤康英 ……………2:23
15. さくらさくら/日本古謡 (編曲)佐橋俊彦 ……………3:56
16. 宵待草/竹下夢路/多 忠亮 (編曲)青島広志 ……………3:08
17. 清らかな女神よ～歌劇「ノルマ」より Casta Diva from Opera "NORMA"/ベツリーニ V. Bellini ……………6:35

斉田正子(ソプラノ)、彩 愛鈴(ハープ) 2009年7月23、24日 秩父ミュージックパーク音楽堂にて録音

熟成した葡萄酒のように、微妙に異なる色調の濃<sup>あじ</sup>が重なりあうことによって、そこに豊かな文化が生まれ出るのではないのでしょうか。音楽もまた然り、美しい声と美しい音が、自在に、しなやかに、やわらかく重なりあい、融けあうことによって、そこに至福のハーモニーが生み出されます。

ソプラノの斉田正子さんがまたも、素敵なおアルバムを出してくれました。『イタリアの歌、日本の歌』というタイトルのCDです。ここでは、17曲の歌がとりあげられています。イタリアの古典歌曲にはじまり、日本歌曲を挟んで、イタリア・オペラのカヴァティーナ（歌詞の繰り返しのないアリア）で閉じられるといったように、センス良く配列されています。いずれの曲もみずみずしさにあふれ、誠実にしかも魅力をもって取り組まれた秀演です。そうした繊細で温かい気持ちのこもった斉田正子さんの歌唱に、心が震えるようです。このアルバムには、もうひとつ極上のマジックが…。それは、彩 愛玲さんが奏でるハーブの世界との協調です。彩 愛玲さんは、洗練されたのびやかな感性で、一連の曲を楚々とした多彩な音色と快い響きでもってニュアンス豊かに弾き分けており、新たな息吹とたおやかな抒情の香りを与えています。撥音の余韻も限りなく美しく印象的で、それぞれの旋律への共感にみちあふれています。これまで舞台ではしばしば目にし、耳にしてきた斉田正子さんと彩 愛玲さんのデュオですが、こんな曲をいつか録音してもらえたら…という想いが、通じたのかもしれませんが。魅力あふれるデュオ・アルバムが登場しました！

音楽ジャーナリスト 横堀朱美

## ◆曲目について

### 1. カッチーニ：アマリッリ

カッチーニ (1546頃-1614) はフィレンツェの名門メディチ家に仕えたリュート弾きで歌手でした。フィレンツェのカメラータの中心人物のひとりとして、オペラという新芸術の確立に貢献し、現存する最古のオペラ「エウリディーチェ」を書くなど同地を中心に活躍。1602年に出版された「新音楽」に含まれる歌曲「アマリッリ」(または「麗しいアマリッリ」)によって、今にその名を伝えています。憂愁をおびた旋律が印象的。詩は、グワリニが書いたノストラレーレのなかで、羊飼いが愛するアマリッリに語りかける言葉からとられています。

### 2. カッチーニ：アヴェ・マリア

カッチーニの作と伝えられ、親しまれてきた名曲ですが、この曲がとてもロマンティックなハーモニーをもっているため、近年は、カッチーニの時代のものかどうか不詳、恐らくは別人の手になるもの…とする見方が強いようです。儂げな旋律にのせて、聖母への祈りの言葉の「アヴェ・マリア」が真摯に歌われ、厳かな雰囲気を高めてゆくとともに、聴き手の心をやさしくつつみこんでいきます。

### 3. チェスティ：さよなら、コリンド

チェスティ (1620-1669) は、フランシスコ派の修道僧で、同時に、ローマのカリッシミに学んだ音楽家でもありました。1646年にフィレンツェのメディチ家の楽長となり、晩年はウィーンの宮廷副楽長を務めました。ヴェネツィア・オペラの重要な作曲家のひとりとしてされていますが、オペラ以外にもカンタータや声楽曲を作っています。チェストは、“人の心を惹きつけてやまないメロディスト”と称されますが、チコニーニの詩に曲を付けた「さよなら、コリンド」も、流麗な旋律とリカルな美しさにみちています。

### 4. パイジェッロ：もはや私の心には感じない(うつろの心)

エカテリナII世に気に入られ、ロシアの宮廷劇場で活躍したのち、ナポリの宮廷オペラ作曲家となり、祖国で人気を博したナポリ派の作曲家パイジェッロ (1740-1816) 1788年に作曲した全3幕からなるオペラ「水車屋の娘」(または「身分違いの恋」)のなかで歌われる有名なアリエッタです。あたたかみのあるアンダンティーノの主題は当時大流行し、ベートーヴェンはじめ多くの作曲家によって変奏曲が作られました。詩は、青春の輝きから遠ざかっていく嘆きを歌っています。



## 5. ジョルダナーニ：カロ・ミオ・ベン（いとしい人）

イタリア古典歌曲のなかでも最もポピュラーな1曲です。ジョルダナーニ（1743頃 - 1798）は、ナポリ生まれの劇場経営者兼オペラ作曲家で歌手。生地の音楽院で学んだのち、30曲以上のオペラをはじめ、オラトリオなどを書いています。今ではこの「カロ・ミオ・ベン」によってのみ、その名を残しています。流れるようなやわらかい旋律にのせて、「いとしい人よ、私のことを信じてください…」と歌い込まれます。これが独立した歌曲なのか、それともオペラのアリエッタ（小アリア）なのかはわかりません。

## 6. ベッリーニ：マリンコニーア

ベッリーニ（1801-1835）は、ナポリの王立音楽院在学中すでに多数の教会音楽や器楽曲などを作曲。早くてオペラで認められ、抒情あふれる旋律と美しい和声によって、19世紀初頭を代表するイタリア・ロマン派オペラの作曲家となりました。「マリンコニーア」は、ベッリーニ歌曲の代表作。1829年にミラノで出版された歌曲集「6つの室内アリエッタ」に収められています。マリンコニーアは妖精の名ですが、意味はメランコリー。ベッリーニをめぐる3人のジュディッタのひとりで、パロンだったジュディッタ・トゥリーナへの愛の贈り物として書かれたといわれます。

## 7. マスカーニ：アヴェ・マリア

マスカーニ（1863-1945）は、1888年ローマの楽譜出版社ソントゥオーニョの懸賞に応募した歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」の1位入賞で一躍認められ、反ロマン主義的なヴェルシズモ（現実主義）・オペラの確立者となります。このオペラの「問奏曲」は、のちに編曲されて「アヴェ・マリア」の歌詞で歌われるようになりました。敬虔な雰囲気につつまれた美しい曲です。

## 8. ロッシーニ：何も言わずに

ロッシーニ（1792-1868）は、天才の名を欲しいままにした早熟のオペラ作曲家ですが、36歳でオペラの筆を折り、その後はナポリ郊外に居を構え、ときおり器楽曲や歌曲などを書くだけで、悠々自適の晩年を送りました。詩は、メタスタージョの作。自分をふろうとしている女性への恨みを並べ、でも自分の愛は冷めないと言います。何故かロッシーニはこの詩を愛し、この詩によって50曲以上の歌曲を書いています。

## 9. 鹿島鳴秋（詞） / 弘田龍太郎（曲）：浜千鳥

童謡詩人の鹿島鳴秋（1891-1954）が1919年に書いた詩に、翌年、弘田龍太郎（1892-1952）が曲を付けて発表したもの。弘田龍太郎は昭和の初めにベルリンに留学して作曲とピアノを学び、帰国後は東京音楽学校の教師となりました。詩は、愛娘を亡くした鹿島が、その悲しみを浜千鳥に託して歌ったものという説と、6歳で両親と生き別れ、祖父のもとで育った鹿島が、親を慕う気持ちを歌ったものという説が伝えられています。五音音階とゆるやかな三拍子が心の痛みを表現し、悲しみにみちた歌となっています。

## 10. 清水かつら（詞） / 弘田龍太郎（曲）：叱られて ●昔は龍、ここ数年の資料は竜

1920年、小学新報社発行の子供雑誌「少女号」に発表されました。清水かつらの詩に、弘田龍太郎が曲を付けたものですが、弘田龍太郎は、民謡風の美しい旋律を用いて、もの悲しい心情を描きだしており、心にふれる名曲として広く愛されています。

## 11. 日本民謡 / 山田耕筈（曲）：中国地方の子守唄

中国地方の、岡山県から広島県にかけての一带で古くから歌われていたわらべ歌を、山田耕筈（1886-1965）が採譜し、それをもとに編作した子守歌です。作者不詳の詩が、やさしい調べにのせて、「ねんねこ しゃっしゃりませ」と歌いだされます。このくんだり《さっしゃりませ》となっている本もありますが、ここでは《しゃっしゃりませ》と歌われています。

## 12. 三木露風（詞） / 山田耕筈（曲） / 彩 愛玲（編）：赤とんぼ

三木露風（1889-1964）が1921年に発表した詩に、山田耕筈が旋律を書いて1927年12月に完成させ、日本文楽協会出版部の「童謡百曲集」第2巻第27曲に収録。山田耕筈の数多い歌曲のなかでも特に親しまれています。この詩は、口語詩を拓いた詩人として知られる露風が、7歳のときに実家に帰った母への思慕と、幼少の頃に子守に背負われて見た故郷の播磨平野への思いを詠んだものです。

## 13 北原白秋（詞） / 近衛秀麿（曲）：ちんちん千鳥

北原白秋（1885-1942）が、1921年に童謡・童話雑誌「赤い鳥」に発表した詩に、名指揮者として知られた近衛秀麿（1898-1973）が、親しかったテノール歌手の藤原義江のために1928年に作曲したもの。この同じ詩に成田為三や山田耕筈らも曲を付けていますが、近衛秀麿の作品が一番よく知られています。静かで趣のある歌です。

#### 14. 北原白秋 (詞) / 草川 信 (曲) / 伊藤康英 (編) : ゆりかごの歌

北原白秋が、1921年8月号の雑誌「小学女生」に発表した童謡です。この詩に、草川信 (1893-1948) が曲を付けて、同年10月号の雑誌「赤い鳥」に掲載。作者の優しさとあたたかさか詩にも旋律にも色濃く表れたメルヘン的な秀作です。戦後もNHKラジオ「歌のおばさん」で繰り返し放送されました。

#### 15. 日本古謡 / 佐橋俊彦 (編) : さくらさくら

1888 (明治 21) 年発行の、東京音楽学校著作「箏曲集」に発表され、このときに新作されたといわれています。日本俗楽の陰陸法としては珍しく、ほのぼのとした哀調のなかにも、明るさをたたえた優雅な作品となっています。1941年発行の「ウタノホン (下)」に収められるときに、現在の詩に改められました。“さくら”は日本の代表的な名花として、そしてこの歌は、海外でも有名な日本の代表曲となっています。ここではヴォカリーズの中間部を挟んで、歌詞が2回歌われます。

#### 16. 竹久夢二 (詞) / 多 忠亮 (曲) / 青島広志 (編) : 宵待草

画家で詩人の竹久夢二の作詞、多忠亮の作曲による「宵待草」は、日本抒情歌の代表名曲のひとつとして、広く愛唱されています。愛する女性への断ち切れぬ想いを歌ったこの詩は、1913年11月発行の処女詩集「絵入りの小唄集くどんたく」のなかの1篇で、これに宮内省雅楽部のヴァイオリニスト多忠亮が曲を付けたもの。青島広志の編曲は、随所にヴォカリーズが挿されています。ちなみに宵待草という植物は存在しません。植物学では大待宵草といい、一般には待宵草と呼ばれます。詩の語感を印象的にするために、竹久夢二が文字を入れ替えて宵待としました。

#### 17. ベッリーニ : 清らかな女神よ～歌劇「ノルマ」

1831年にミラノで初演されたオペラ「ノルマ」は、典雅な情趣と憂いをたたえた名作で、ベッリーニ (1802-1835) の代表作です。「清らかな女神よ」は、第1幕、ガリア地方の神秘宗教のドルイド教徒たちが神聖な森に集い、統治するローマ帝国への反乱の血気に逸るところへ、教徒の長の娘で尼僧長のノルマが進み出て、まだその時期ではないと神の託宣を告げ、月の女神に平和の祈りを捧げるカヴァティーナです。このノルマ役は、華やかな技巧を聴かせるコロラトゥーラとドラマティックな表現とを同時に要求されるドラマティーク・ソプラノの最高の難役です。

(解説：横堀朱美)

## Amarilli

Amarilli, mia bella,  
non credi, o del mio cor dolce desio,  
d'esser tu l'amor mio?  
Credilo pur: e se timor t'assale,  
dubitar non ti vale.  
Aprimi il petto e vedrai scritto in core:  
Amarilli e il mio amore.

## Ave Maria

Ave Mria

## Addio, Corindo

Addio, Corindo, addio, addio!  
Rivolto ad altra sfera,  
Della fiamma primiera  
non si rammenta più  
l'egro cor mio  
Addio, Corindo,

Vieni, Alidoro,  
Vieni, vieni!

Consola chi si more!  
E temprando,  
temprando il mio ardore.  
godi in grembo a Silandra i dì sereni!

Vieni, vieni, vieni,  
mia vita, vieni,  
vieni, mia vita, vieni!

## Nel cor più non mi sento

Nel cor più non mi sento  
brillar la gioventù;  
cagion del mio tormento,  
amor, sei colpa tu.  
Mi pizzichi, mi stuzzichi,  
mi pungichi, mi mastichi,  
che cosa è questo, ahimè?  
Pietà, pietà, pietà!  
Amore è un certo che  
che disperar mi fa!

## Caro mio ben

Caro mio ben, credimi almen,  
senza di te, languisce il cor.

Il tuo fedel, sospira ognor.  
Cessa, crudel, tanto rigor!

## Maliconia, Ninfa gentile

Malinconia, ninfa gentile,  
La vita mia consacro a te;  
I tuoi piaceri chi tiene a vile,  
Ai piacer veri nato non è.  
Fontie colline chiesi agli Dei;  
M'udirò alfine pago io vivrò  
Né mai quel fonte co' desir miei,  
Né mai quel monte trapasserò,

## Ave Maria

Ave Maria,  
Madre Santa, Sorreggi il piè  
Del miser che t'implora,  
In sul cammin del rio dolor,  
E fede e speme gli infondi in cor  
O pietosa, tu che soffristi tanto,  
Vedi, ah! Vedi il mio penar.

Nelle crudeli ambascie d'un infinito pianto,  
Deh! Non m'abbandonar.  
Ave Maria!  
In preda al duol, non mi lasciar,  
O madre mia pieta!

## Arietta all'antica

Mi lagnerò tacendo  
della mia sorte amara;  
ma ch'io non t'ami,  
o cara, non lo sperar da me.  
Crude!  
In che t'offesi?  
Farmi penar, perche?

青い月夜の 浜辺には  
親を探して 鳴く鳥が  
波の国から 生まれ出る  
濡た翼の 銀の色

夜鳴く鳥の 悲しさは  
親を尋ねて 海こえて  
月夜の国へ 消えてゆく  
銀の翼の 浜千鳥

## 叱られて

叱られて  
叱られて  
あの子は町まで お使いに  
この子は坊やを ねんねしな  
夕べさみしい 村はずれ  
コンときつねが 鳴きやせぬか

叱られて  
叱られて  
口には出さねど 眼になみだ  
二人のお里は あの山を  
越えてあなたの 花のむら  
ほんに花見は いつのこと

## 中国地方の子守歌

ねんねこ しゃっしやりませ  
寝た子の 可愛さ  
起きて泣く子の ねんころろ  
つら憎さ

ねんころろん ねんころろん

ねんねこ しゃっしやりませ  
きょうは 二十五日さ  
あすはこの子の ねんころろ  
宮詣り

ねんころろん ねんころろん

宮へ 詣ったとき  
なんとゆうて 拝むさ  
一生子の子の ねんころろ  
まめなよに  
ねんころろん ねんころろん

## 赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ  
負われて見たのは いつの日か

山の畑の 桑の実を  
小籠に摘んだは まぼろしか

十五でねえやは 嫁に行き  
お里のたよりも 絶えはてた

夕焼小焼の 赤とんぼ  
とまっているよ 竿の先

## ちんちん千鳥

ちんちん千鳥の 啼く夜さは  
啼く夜さは  
硝子戸がら戸しめても まだ寒い  
まだ寒い

ちんちん千鳥の 啼く声は  
啼く声は  
燈を消しても まだ消えぬ  
まだ消えぬ

ちんちん千鳥は 親ないか  
夜風よかぜに吹かれて 川の上  
川の上

ちんちん千鳥よ お寝らぬか  
(お寝らぬか)  
夜明けの明星みょうじょうが 早しらや白む  
(早や白む)

## ゆりかごの歌

ゆりかごの 歌を  
かなりやが うたうよ  
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

ゆりかごの 上に  
びわの実が ゆれるよ  
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

ゆりかごの つなを  
木ねずみが ゆするよ  
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

ゆりかごの 夢に  
黄色い月が かかるよ  
ねんねこ ねんねこ ねんねこよ

## さくら さくら

さくら さくら  
やよいの空は  
見渡すかぎり  
霞か霞か  
匂いぞいずる  
いざや いざや  
見に行かん

## 宵待草

待てど暮らせど 来ぬ人を  
宵待草の やるせなさ  
今宵は月も 出ぬそうな

## 清らかな女神よ～歌劇「ノルマ」より

Casta Diva, Casta Diva, che inargenti  
queste sacre, queste sacre, queste sacre  
antiche piante,  
a noi volgi il bel sembiante, a noi volgi,  
a noi volgi (il bel sembiante) il bel  
sembiante  
senza nube e senza vel  
senza vel, si senza vel.

Tempra, o Diva,  
Tempra tu de' cori ardenti,  
tempra ancora, tempra ancora,  
tempra ancor lo zelo audace,  
spargi in terra ah, quella pace,  
spargi in terra  
spargi in terra (quella pace)  
che regnar, regnar tu fai, tu fai nel ciel  
tu fai nel ciel





—Profile—

## 齊田正子〈ソプラノ〉

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程及び博士後期課程修了。1992年3月東京藝術大学より「19世紀イタリアヘルカントオペラについて」にて学位博士（音楽）を取得。81年学部在学中に「第17回日伊声楽コンクール」入選。81年NHK「春に単立つ音楽界のホープ」に出演。84年「第19回民音コンクール」第2位入賞。その後国際文化教育交流財団の奨学生として、イタリアのミラノに留学。85年「第6回イタリア・バヴィア国際声楽コンクール」第3位入賞。86年「第35回ミュンヘン国際音楽コンクール」女性声楽部門第2位入賞し帰国。87年東京藝術大学100周年記念オペラ「オルフェウスとエウリディチェ」のアモーレに出演。88年藤原歌劇団初のオーディションに合格し「椿姫」のヴィオレッタ役でデビュー。ソニー音楽芸術振興会主催で初のリサイタルを行う。同年「第2回グローバル東敦子賞」「第16回ジロー・オペラ賞新人賞」を受賞。1998年よんでん文化奨励賞受賞。2004年エクソン・モービル音楽賞奨励賞受賞。オペラでは藤原歌劇団「清教徒（日本初演）」エルヴィラ、「カルメン」ミカエラ、「ラ・ボエーム」ムゼッタなど多数出演。その他リサイタルやオーケストラとの共演、FM放送、テレビCMなどに出演している。佐藤陽三、岡部多喜子、東敦子、V. ボッローニ、A. ヘルトラーミ、R. エリー諸氏に師事。藤原歌劇団団員。日本大学芸術学部教授。



## 彩愛玲 (ハーブ)

国立音楽大学卒業。篠崎史子氏に師事。

在学中は現代音楽と Computer Music に取り組み北京、ニューヨーク、スウェーデンなど国内外で演奏多数。MIT 発刊「Computer Music Journal」には演奏が収められている。

07年CD「花一輪」(キングレコード)リリース。同年よりお話しを交えたサロンコンサートを毎月開催。

08年東京文化会館小ホールにて初リサイタル。ゲストに二胡のチェンミン氏を招き東洋・西洋の名曲を演奏、好評を得た。

またその様子はFoxTV「Power of Maybe」に取り上げられた。ソロ、室内楽、レコーディングの他、吹奏楽にも積極的に関わり Japan Band Clinic でハーブ講座を初めて開催、09年浜松国際管楽器アカデミーオープニングコンサートにて長生淳氏作曲「光の種」を講師陣たちと初演。ヤマハ吹奏楽団や中学・高校吹奏楽部演奏会にゲスト出演するなど、様々なアプローチでハーブの可能性を探求している。

## Recording Data

Recorded:23,24 July 2009 at Chichibu Myuzu-Park Ongakudo

Producer:Hiroshi Sato ( Florestan Co.,Ltd )

Recording & Editing Engineer:Shun-ichi Kogai ( Florestan Co.,Ltd )

Assistant Engineer:Makiko Uochi ( Sound Creators inc. )

Art Director:Satoru Yonekawa ( T&M Creative Inc.

Yuki Yoshida ( T&M Creative Inc.

Photo by: Izumi Ryo

Special Thanks:Fumiaki Saito ( Sound Creators Inc. )

<取り扱い上のご注意> ●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クローナーや消刷等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いて、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。<保管上のご注意> ●直射日光の当たる場所や、高温、多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用后、元のケースに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの裏に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。







斉田正子(ソプラノ)  
彩 愛鈴(ハーブ)



2009年7月23,24日 秩父ミュージックパーク音楽堂にて収録

1. アマリッリ Amarilli / カッチーニ G. Caccini
2. アヴェ・マリア Ave Maria / カッチーニ G. Caccini
3. さよなら、コリンド Addio, Corindo / チェスティ M.A. Cesti
4. もはや私の心には感じない(うつろの心)  
Nel cor piu non mi sento / パイジェッロ G. Paisiello
5. カロ・ミオ・ベン(いとしい人よ)  
Caro mio ben / ジョルダーニ G. Giordini
6. マリンコニーア Malinconia / ベッリーニ V. Bellini
7. アヴェ・マリア Ave Maria / マスカーニ P. Mascagni
8. 何も言わずに Arietta all'antica / ロッシーニ G. Rossini
9. 浜千鳥 / 鹿島鳴秋 / 弘田竜太郎
10. 叱られて / 清水かつら / 弘田竜太郎
11. 中国地方の子守唄 / 日本民謡 / 山田耕筈
12. 赤とんぼ / 三木露風 / 山田耕筈 (編曲) 彩 愛玲
13. ちんちん千鳥 / 北原白秋 / 近衛秀磨
14. ゆりかごの歌 / 北原白秋 / 草川 信 (編曲) 伊藤康英
15. さくらさくら / 日本古謡 (編曲) 佐橋俊彦
16. 宵待草 / 竹下夢路 / 多 忠亮 (編曲) 青島広志
17. 清らかな女神よ～歌劇「ノルマ」より  
Casta Diva from Opera "NORMA" / ベッリーニ V. Bellini

09・09・11 | STEREO MADE IN JAPAN □ ©2009 R-0980513MT

このCDは、権利者の許諾なく複製等に使用すること、個人的な範囲を超える使用目的で複製すること、ネットワーク等を通じてCDに収録された音と音源を第三者に提供すること等は禁じます。

Florestan  
FLORESTAN RECORDS